令和５年度第５回(通算 125 回)歩こう会

堤と沼めぐりとビアガーデン
納涼ウオーク開催記

記：歩こう会幹事　萩原鉄雄さん
開催日：2023 年８月 22 日（火曜日）
場所：（堤と沼）仙台市宮城野区
（ビア）仙台駅周辺
参加者：（堤と沼）４名　　（ビア）７名

８月の歩こう会は涼しさを求めて沼の水辺を歩き夕方ビアガーデンで納涼をする企画でしたが、例年にない猛暑 36 度近い中をウオークする結果になりました。

午後１時 30 分に昭和 40 年代の誕生当時仙台市のモデル団地と全国の注目を集めた鶴ヶ谷に①コース参加者４名に集合しました。
団地の住民の皆さんが「ひょうたん沼」と呼称する鶴ヶ谷中央公園大堤 1.5km を一周藤棚の下で暫しの休憩をし、団地の様子などを話し合いしまました。

仙台市 緑の名所 100 選に指定される憩いの場所

「ひょうたん沼」には最盛期には約 90 羽の白鳥が飛来していましたが、10 数年前より傷ついた白鳥５羽が 365 日在沼し餌の水草を食い尽くし、徐々に飛来数も少なくなり５羽の白鳥も現在は人間と同様高齢化し１羽のみになりました。
毎冬飛来４－５羽あるも水草がないためすぐに与平沼のほうに去って行きます。

鶴ヶ谷の人口も団地誕生当時は１km 四方に２万人以上居住し１㎡四方の人口密度が日本一になったこともありましたが、50 年後の現在は１万人超の住民ですが仙台市１番の高齢化率になっています。

鶴ケ谷団地
高度経済成長期になって人口が急増していた仙台市は、国の全国総合開発計画に呼応して 1962 年（昭和 37 年）、公害がなく、全市民が健康な生活や福祉を享受出来、かつ、東北開発の中核としての近代的大都市建設を目ざした「健康都市宣言」を発表した。
また、同年国が制定した新産業都市建設促進法に基いて、1964 年（昭和 39 年）に仙台市を含む仙台湾地区が新産業都市に指定された。
すると仙台市は 1966 年（昭和 41 年）、都市計画区域の範囲を従来の市内限定から、隣接する宮城郡泉町、宮城町、および、名取郡秋保町（以上の１市３町が現・仙台市域）にまで広げた都市計画を策定し、将来の政令指定都市移行を目指して広域行政を展開した。
　ウィキメディアより

暑さも厳しいので歩行挫折も考えましたが最後まで歩く意見多数の為街路樹や建物の影を求めながら与平沼までの 3km を歩きました。
途中コンビニでアイスキャンデーを補給休憩一休み。

与平沼公園は 10 数年かけて警備され 2023 年に北側駐車場とトイレ工事と遊具設置も終えて全面開放になりました。
与平沼は仙台藩士鈴木与兵衛が私財を投じて造った灌漑用水の沼です。
沼に行くまでの道もきれいになり、沼の周りの木の柵も出来て安心して自然の中を歩くことが出来ます。

仙台市 HP より

秋になると紅葉が美しく、冬には白鳥が多数飛来します。沼は枡江小学校前停下車徒歩 2 分です。冬白鳥を観に来ては如何ですか。南側と北側に駐車場もあります。
与平沼は自然豊かな場所で１周出来る散策路も整備されています。

今回は②コースの参加者との合流時間の関係で散策路の半分を歩きました。

公園をでてバス時間の 5 分前に枡江小学校前停に到着。
3 時 58 分の仙台駅に乗車する車の交差も難しい細道を走行するため集合時間の 4 時 30 分間ぎりぎりに駅前に到着。
ビアガーデンコースの 3 名と合流後、仙台朝市直結の**「東四ビアガーデン」**に出発平日に関わらず約 100 席が 6 時過ぎには満席の状況で賑わっていました。
食材は約 70 種類・アルコール類は約 40 種類のメニューになっていました。

東四ビアガーデン
HP より

歩こう会 改め　飲みに行こう会

バーベーキューは食べ放題・飲み物も飲み放題の 2 時間の間 各人好みの食材を焼いたりアルコール等の飲み比べなど楽しみました。

ビアガーデン各店を飲み歩いた人の話によると、某デパートのビアガーデンよりも「東四ビアガーデン」は食材とアルコール等飲物の品数も多く、食材の品質も朝市より新鮮なものを使用していると、本日の企画に満足していただきました。

午後 7 時を過ぎても仙台駅前の温度は暑苦しさのままです。
早く平年の気温にもどることを期待します。